

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立上尾特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の目指すべき方向を評価運営委員会で確認・検討し、キャリア教育の推進を中心に掲げている。学校に寄せられる期待などを広く収集し、学校の特色や強みを生かした更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の置かれた状況や児童生徒の実態等を把握した上で、重点目標の達成方法について検討が行われ、年度目標などの見直しが図られている。学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	今年度コーディネーターを複数配置するなど、重点目標達成に向けた組織体制が整いつつある。分掌・学部等で策定される方策等が重点目標の達成につながるものとなるよう一層連鎖を図り、より重点化して具体性のあるものにし、更に組織的な体制の整備を進めていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標の設定に当たり、職員会議などで教職員間の共通理解が図られている。一人一人の児童生徒の実態に応じるといった視点で引き続き方策を策定すると良い。評価指標については、方策の達成状況が確認しにくいものがあるので、児童生徒の変容に着目したものを設定するなどして、取組の達成状況を検証することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が的確にリーダーシップを発揮し、学校の中・長期的な課題を析出して、課題解決に向け組織的に取り組んでいる。若手教員等の授業力・専門性向上に向けた「Rainbow Teacher 制度（教職員校内支援制度）」の実施など、教職員が全体の目標を理解した上で、適切に連携して全校を挙げての優れた取組を行っている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケート結果等を教職員や保護者に示し、達成状況や課題等の共通理解を図っている。年度評価・学校関係者評価などを基に課題を明確にして、次年度の目標・方策等に適切に引き継ぎ、若手教員等の育成など、課題の解決に向けて組織的かつ積極的に取り組んでいる。	
特記事項			